



分科会 12 より安全で安心ながん医療への貢献 ～病院薬剤師、薬局薬剤師それぞれの役割～

10月8日(月・祝) 9:00～11:30 第2会場(アクトシティ浜松 コンgressセンター 3F 31会議室)

W-12-01

基調講演 チーム医療によるがん患者サポート ～薬剤師の専門性と連携を活かして～

はしだ とおる
橋田 亨

神戸市立医療センター中央市民病院・院長補佐兼薬剤部部長

抗がん薬は副作用の発現頻度が高く、投与にあたっては初期症状からそれを把握し、適切な対応によって重篤化を未然に防ぐ必要がある。また、もし抗がん薬投与に関して医療ミスが起これば、それは生命に関わる重大な結果を引き起こしかねない。従ってがん化学療法においては、抗がん薬投与の安全管理を確実に遂行する専門家からなるシステムの確立、チーム医療が求められる。その際、抗がん薬の知識や臨床経験を積み重ね、自ら抗がん薬の調剤を手がけながら、副作用を最小限に抑え、個々の患者に対応した投薬の方法を提案できる専門性の高い薬剤師がチームに加わる事は必須と考える。

近年の新規抗がん薬の開発のスピードには目を見張るものがある。薬剤師は常にそれらの最新情報を入手し、自らの業務に活用していく必要がある。また、新規抗がん薬は高価であり、がん薬物療法を患者の経済的負担といった視点で評価する能力も求められる。このような背景から、がん化学療法および支持療法に関する処方せんを応需する、かかりつけ薬局においても、薬剤師はその知識や経験を積み重ね、質の高い抗がん薬の調剤、服薬指導、副作用モニタリングを担うことで、がん患者の生命予後とQOLを確保する上で重要な役割を果たしていくことが期待される。

がん化学療法を目的から分類すると、1. 根治的化学療法、2. 術後補助療法、3. 緩和的化学療法に大別される。根治的化学療法の対象は造血器腫瘍などごく一部に限られており、大半の化学療法は術後の再発防止あるいは症状緩和を目的とした化学療法である。従って、患者のQOLに配慮し、在宅通院での化学療法を指向するようになってきた。従来、重篤な副作用発現の危険を伴うがん化学療法は、入院での厳密な管理下で実施されていたが、それを外来へとシフトさせることを可能とした要因として新たな薬剤登場の寄与するところが大きい。顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)製剤は、好中球減少への対処を可能とし、感染症のリスクを軽減した。また、新規制吐薬も患者にとって大きな苦痛を伴う悪心・嘔吐の防止・軽減を実現し、化学療法の外来での実施の可能性を広げた。

がんのチーム医療において薬剤師に求められることは、何より「抗がん薬投与の安全性を確保する」ことである。このため、多くの病院で薬剤師が化学療法レジメンの事前登録、抗がん薬の無菌調製を実施しており、使用薬剤と副作用対策に関する患者さんへの説明、他の医療スタッフへの医薬品情報の提供に努めている。先駆的な取り組みとして、初めて化学療法を受ける患者や化学療法レジメンが変更される患者を対象とした「薬剤師外来」が上げられる。患者一人当たりの時間を充分とり、副作用の初期症状やその対策、薬物療法にかかる費用などを薬剤師が直接説明することにより、患者が納得して抗がん薬治療を受け入れ、自らも副作用に注意を払うよう促している。また、外来化学療法を受ける患者のベッドサイドにそのつど薬剤師が出向く「薬剤師ラウンド」も副作用モニタリングに功を奏している。患者からの訴えから得られた情報は、カルテとデータベースに記録し、全スタッフと情報共有した上で、必要に応じて医師に処方提案が行われている。

近年多くの経口抗がん薬が用いられている。休薬時期、期間が指示される場合も多く、調剤上の安全管理、服薬指導、副作用モニターにより注意を要する。一方、分子標的薬と呼ばれる抗がん薬は、「夢の抗がん薬」などとマスコミなどで取り上げられ、過度の期待が寄せられている向きもあるが、重篤な副作用も散見されるとともに、従来の抗がん薬とは異なる副作用プロファイルを示すことも判明している。

抗がん薬の調剤、服薬指導を行う際には処方せん記載内容に加えて、患者情報の詳細を入手することが望まれる。患者の同意が得られることが前提であるが、お薬手帳を活用して、癌腫、がんの病期診断、がん薬物療法の内容ががん化学療法レジメン、支持療法、疼痛緩和療法、合併症の薬物療法などの情報を処方せん応需薬局に伝えようとする試みがある。一方、かかりつけ薬局の薬剤師が患者から得た情報を医療機関にフィードバックすることも重要である。予め、医療機関と副作用の症状などチェック項目を打ち合わせしておくことで、きめ細かい副作用マネジメントが可能となる。今後、経口抗がん薬の取り扱いに関する実践的な議論が深められ、抗がん薬の適正使用がより確実に進めて行かれることを期待する。